

★厚生労働省社会保障審議会推薦  
 ★日本PTA全国協議会特薦  
 ★年少者映画審議会推薦  
 ★東京都知事推奨  
 ★日本映画ベンクラブ推薦  
 ★カトリック中央協議会・広報推薦

# 山田火砂子監督作品

”不良少年更生の父“と呼ばれた留岡幸助の生涯を完全映画化

捨てるべき人間はいない——



# 大地の詩

うた

— 留岡幸助物語 —

主演 村上弘明

平成23年度 児童福祉文化賞  
 山田火砂子受賞!



工藤夕貴

市川笑也 隆大介 笹木優子 秋野太作 アーサー・ホーランド 村田雄浩 さとう宗幸 石倉三郎

小倉一郎 和泉ちぬ 佐藤正宏 堀内正美 宮川一朗太 コント山口君と竹田君 井口成人 真砂 皓太 磯村みどり

中条きよし

製作総指揮：山田火砂子 脚本：長坂秀佳 池田太郎 山田火砂子 プロデューサー：井上真紀子 国枝秀美 藪原信子 萩原浩司 音楽：石川鷹彦  
 撮影監督：長田勇市 録音：沼田和夫 美術：小林和美 編集：岩谷和行 メイク：金森 恵 衣裳：佐藤真澄 助監督：石田和彦 ラインプロデューサー：桜井陽一

主題歌：「大地の詩」（歌：朱花） 企画協力：留岡幸助映画応援団

特別協力：社会福祉法人 北海道家庭学校 社会福祉法人 東京家庭学校

製作：現代ふろだくしょん <http://www.gendaipro.com/tomeoka> 助成：文化芸術振興費補助金

とめ おか こう すけ

# 「留岡幸助って何者？」

- ・1864年～1934年
- ・日本の社会福祉の先駆者で、感化院(現在の児童自立支援施設)教育の実践家。北海道家庭学校の創始者として知られる。

## ～ あらすじ～

岡山県高梁に生まれ、生まれてすぐに商家の養子になった幸助は、ある日、金持ちの武士の子に一方的に殴られ、耐えきれずに相手に噛みつき打ち負かす。そのことで米屋を営む実家は得意先を失い、幸助は父から折檻を受け、学校を退学させられたあげく商人になることを強いられる。幸助は幼くして不平等な身分社会に憤りを感じる。

青年になると、幸助はキリスト教へ入信。同志社英学校(神学科)入学。24才で卒業後、丹波第一教会の牧師となる。多くの人に信頼される牧師として活躍した幸助だったが、明治24年、金森通倫牧師の勧めで、妻子を連れて北海道・空知にある監獄の教諭師に就任する。

その頃、空知集治監では、重罪犯二千人を収容し、中には、終身刑を3つも4つも持っている囚人もいた。強制労働など過酷な刑罰を受ける囚人達。幸助は、なんとか囚徒を更生させ、監獄を改革しようと、3年に

渡って囚徒の過去を調査する。

そして、犯罪の芽は幼少期に発することを知り、幼い頃の家庭教育の大切さに気づく。また、幼き日の友人が、犯罪者になっていたことも少年感化に従事する遠因となる。

幸助は教諭師を辞めると、米国に渡り2年をかけて欧米の監獄事情を学ぶ。そして帰国後、少年感化を実現すべく、北巢鴨の一角に「家庭学校」を作り、広く感化を要する子弟を教育、少年感化事業の先駆者となる。後に巢鴨の地が都会的になると、ルソーの『エミール』の中の「子供を育てるには大自然の中が一番」という説に感銘を受け、北海道・遠軽の地に家庭学校を作る。

映画「大地の詩-留岡幸助物語-」

製作・現代ぷろだくしょん

2011年/日本/116分/ビスタビジョン/カラー/DTSステレオ

## 留岡幸助 語録

「学校に行ったからといって英雄豪傑ができるわけではありません。君子になるか、盗賊になるかは家庭の陶冶(とうや=教育)によるのであります。それなのに今の家庭は下宿屋にすぎません。」

「教えんとするものは、自ら教えられなければならぬ。」

「教育上一番大切なのは家庭である。次に大切なのは学校と社会である。人の子を教育する最も適当な場所は、地球上どこか？ オックスフォードか、ハーバードか、エールか、ベルリンか？ 人間を良くする基本は家庭にある。」

「教養のある慈母が子どもの教育者としては一番。無教養なる慈母でもよい。」

「我が国の教育は情味がたらぬ、情味がたらぬということは、色々な悪結果を生む。学校さえやれば子どもは良くなると思っている親。学校が二分で、家庭が八分なのだ。」

「一生選んだ仕事を大切に、人に愚かと言われても、時代遅れと罵られても、頓着なしに白髪になるまで一路白頭が、わたしの転職である。」

# 6/6 長野市芸術館 アクトスペース 3F

(土)

長野県長野市鶴賀緑町1613

駐車場(有料)には限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください

開演 **14:00**

前売券販売

長野市芸術館チケットセンター

TEL: 026-219-3191

[10:00～19:00/火曜定休]



こちらのQRコードから各上映会のチケットをお申込みいただけます！

● 前売券一般：1,300円 ● 当日券一般：1,800円

(当日券のみ) ● 障害者手帳をお持ちの方：1,000円 ● 小中高生：1,000円

・全席自由席 ・開場は各回30分前(予定) ・1回につき～2時間20分程(ご挨拶と映画本編110分程)

前売券・問い合わせ 現代ぷろだくしょん **03-5332-3991** 平日 10～18時

チラシ割引

当日一般：1,500円 / 小学生：800円

※本チラシご持参で5名様まで有効